

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 千葉県立船橋豊富高等学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒274-0053

千葉県船橋市豊富町656-8

E-mail \_\_\_\_\_

Website https://cms1.chiba-c.ed.jp/toyokou/

幼児児童生徒数 男子 334名 女子 273名 合計 607名

幼児・児童・生徒の年齢 16歳～18歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校は、「自律・友愛・進取」を学校理念として、ESDを人と人をつなぐ場と捉え、ESDの実践を通してコミュニケーションの力の育成を目標としています。具体的には、ボランティア活動を柱に、①地域に係わる活動、②環境に係わる活動を行いました。

### ①地域に係る活動

「地域交流」では、生徒会役員とJRC・UNESCO部員が中心となり、夏季休業などを利用して年間30回程度ボランティアに参加しました。

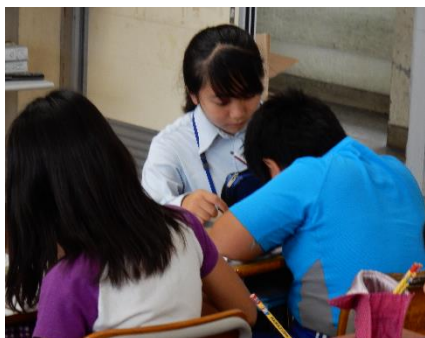
船橋市立豊富小学校への訪問(学習ボランティア)では、約50人の生徒が参加をし、千葉日報に掲載されました。参加した生徒らは、「(勉強が)分かる楽しさを教えられたと思う」「小学生の質問にちゃんと答えられるよう、勉強し直した」など、学習ボランティアを通して人との関わり方や伝え方などコミュニケーション能力を養うことができました。

また、平成29年度千葉県ボランティア参加促進事業「2020ちばおもてなし隊チャレンジステージ」では、2020年のパラリンピック会場となる幕張新都心で「街のバリアフリー化サポート」をテーマに本校生徒と視覚障がい者が

連携し、改善点など実地でチェックしました。普段あまり気にすることのない点字ブロックなど視覚障がい者の立場になって見直すことで他者を思いやる気持ちを育むことができました。

## ②環境に係る活動

「環境問題」では、コンタクトのアイシティ様の協力のもと、“豊富ECO運動”と称してコンタクトレンズの空ケースとペットボトルのキャップの回収を行いました。リサイクルによって得られた収益は、日本アイバンク協会などに寄付されました。「人の支えになりたい」という生徒会役員の思いから、全校集会等で全校生徒へ呼びかけを適宜行っています。



① の写真 (キャプション)



② の写真 (キャプション)

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(ボランティア活動 )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 生徒会と JRC-UNESCO 部が中心となり活動しています )	

#### エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特にありません。
----------

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

今現在、本校ではユネスコスクールとしての活動を教育課程に位置付けていません。主な活動としては、生徒会役員・JRC - UNESCO 部員が中心となってボランティア活動等を行っています。ボランティア活動をするにあたっては、「気づき・考え・実行する」を合言葉に、他者との違いを理解し、他者を尊重する態度の育成を目指しています。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

今までは、一部の生徒（JRC部員）だけがボランティアや環境問題への取り組み等の活動を行ってきました。ユネスコスクール加盟校になったことを機に、生徒会役員協力のもと全校生徒に諸活動の呼びかけを行いました。少しずつですが、学校全体の取り組みとして浸透し始めています。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

今年度は、加盟校初年度であったため全てが手探りで学校活動の評価まで実施することができませんでしたが、成果としては生徒会を諸活動の中心に位置づけたことで、全校生徒へユネスコスクール加盟校としての活動内容が浸透し始めています。一方、課題としては教職員の中でもESDに取り組む温度差があることやユネスコスクール加盟校との連携等が機能していないことが挙げられます。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

- ・平成29年度千葉県ボランティア参加促進事業「2020ちばおもてなし隊チャレンジステージ」でのボランティア活動が、7月3日の千葉日報・毎日新聞に活動内容が掲載されました。
- ・船橋市立豊富小学校への訪問(学習ボランティア)が、8月7日の千葉日報に活動内容が掲載されました。
- ・今までのボランティア活動等が認められ、平成29年度ライトブルー少年賞を受賞した。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

特にありません。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特にありません。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

今までは、一部の生徒（JRC部員）だけがボランティアや環境問題への取り組み等の活動を行ってきました。ユネスコスクール加盟校になったことを機に、生徒会役員協力のもと全校生徒に諸活動の呼びかけを行った結果、ボランティアに参加した生徒が増加しました。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成30年度もボランティア活動を柱に、①地域に係わる活動、②環境に係わる活動を実施する予定です。

地域に係る活動としては、特別支援学校の学校行事（文化祭・体育祭）への運営補助員をはじめ、近隣小学校への学習ボランティアやケアハウス等の施設訪問を行います。

環境に係る活動としては、ペットボトルのキャップ・コンタクトレンズの空ケースの回収はもとより、せかワクぶっくへの参加を計画しています。